

帝人 & 東レ & デュポン

C班

# 帝人

素材・ヘルスケア・IT

の異なる3つの事業の強みを複合したビジネスモデルの変革により新たな  
高収益事業の創出に向けた発展戦略  
「素材＋ヘルスケア」「素材＋IT」

高機能繊維複合材料事業

- ・自動車関連
- ・一般産業向け

電子材料化学製品事業

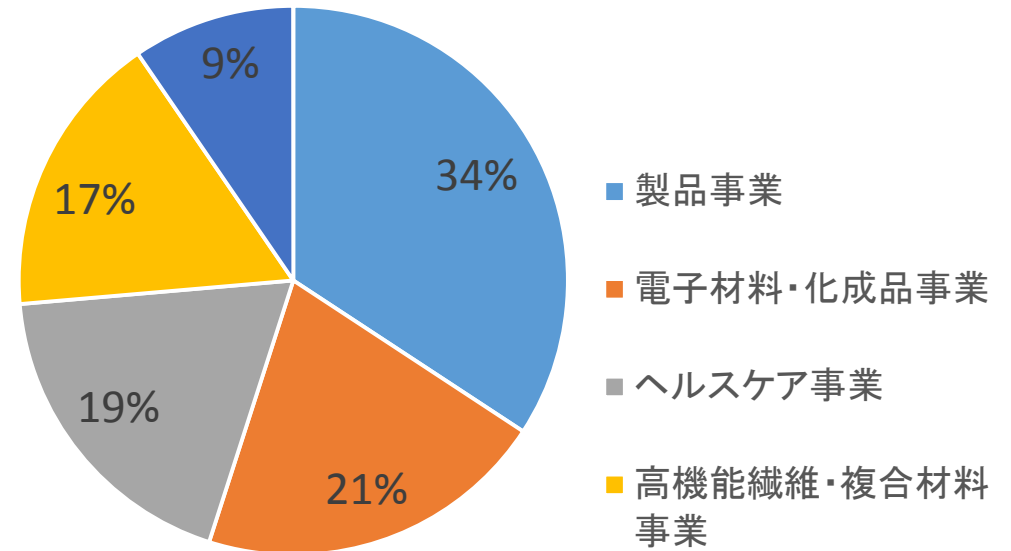
- ・樹脂分野
- ・フィルム分野

ヘルスケア事業

- ・医薬品分野
- ・住宅医療分野

製品事業

- ・衣料繊維分野
- ・産業資材分野



# 東レ

## 基幹事業

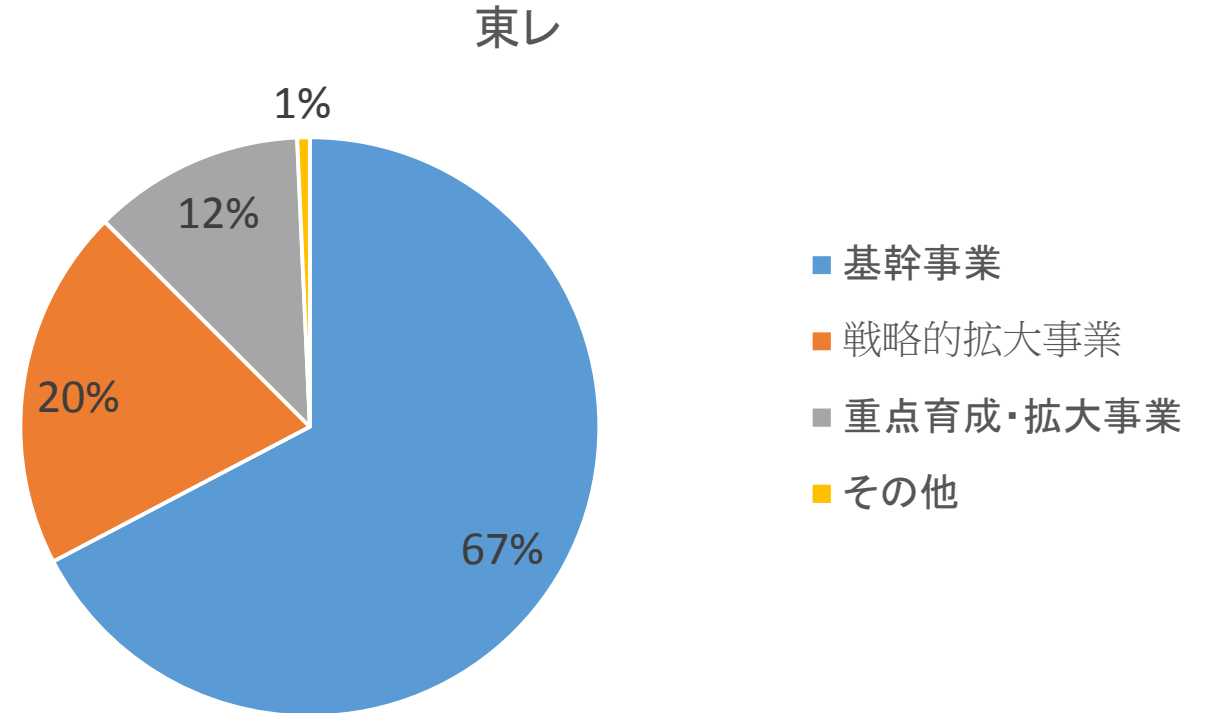
- ・繊維
- ・プラスチック・ケミカル

## 戦略的拡大事業

- ・情報通信材料・機器
- ・炭素繊維複合材料

## 重点育成・拡大事業

- ・環境・エンジニアリング
- ・ライフサイエンス

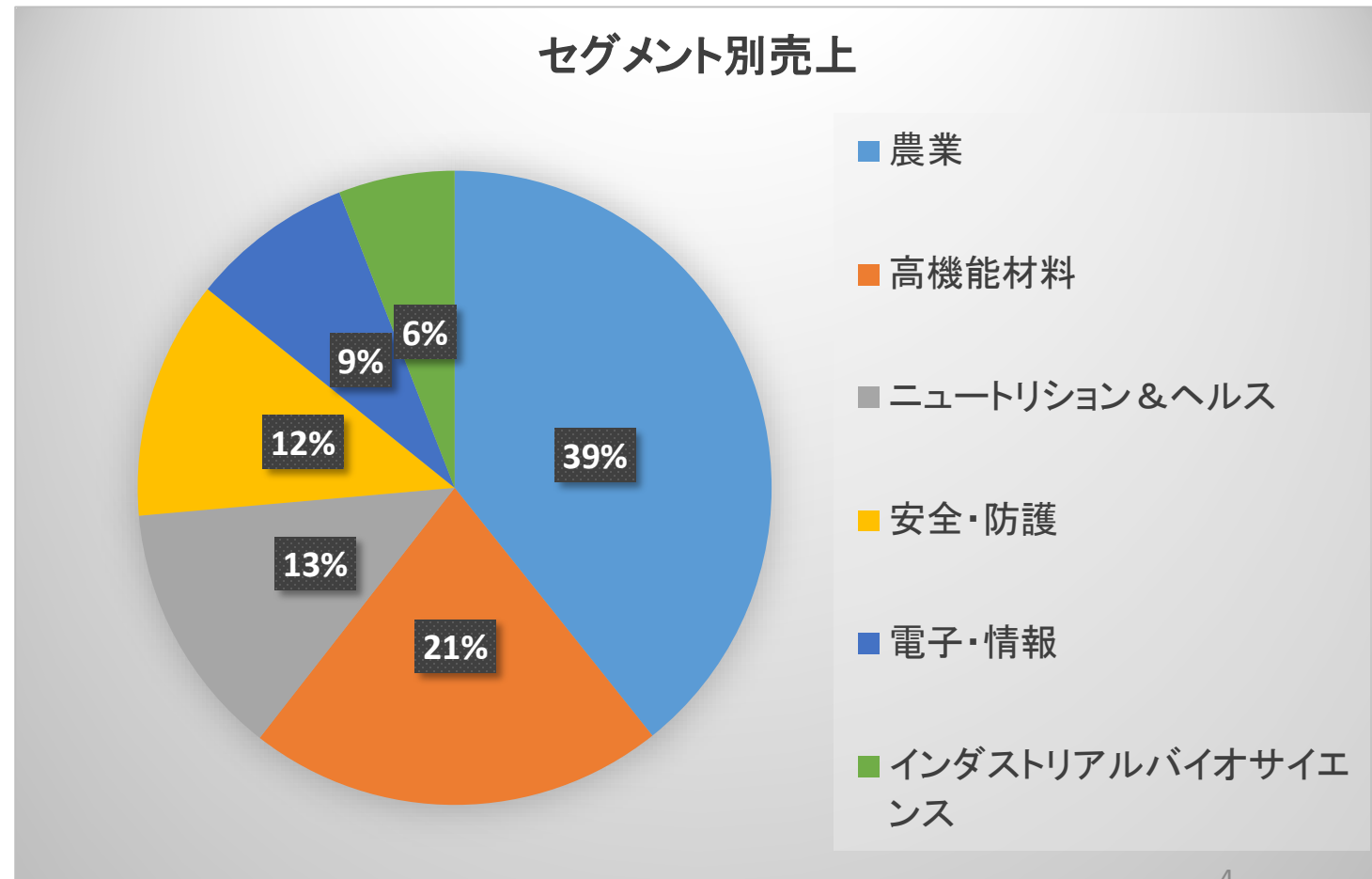


# デュポン

- セグメントの種類: 農業関連、電子・情報、インダストリアルバイオサイエンス、ニュートリション&ヘルス、高機能材料、安全・防護など

・長い歴史の中でM&Aを絶えず行っている。

- 2015年ダウ・ケミカル社と対等合併し世界最大の化学会社になった。



# 帝人



ROEがマイナスの年  
当期純損失が出ている

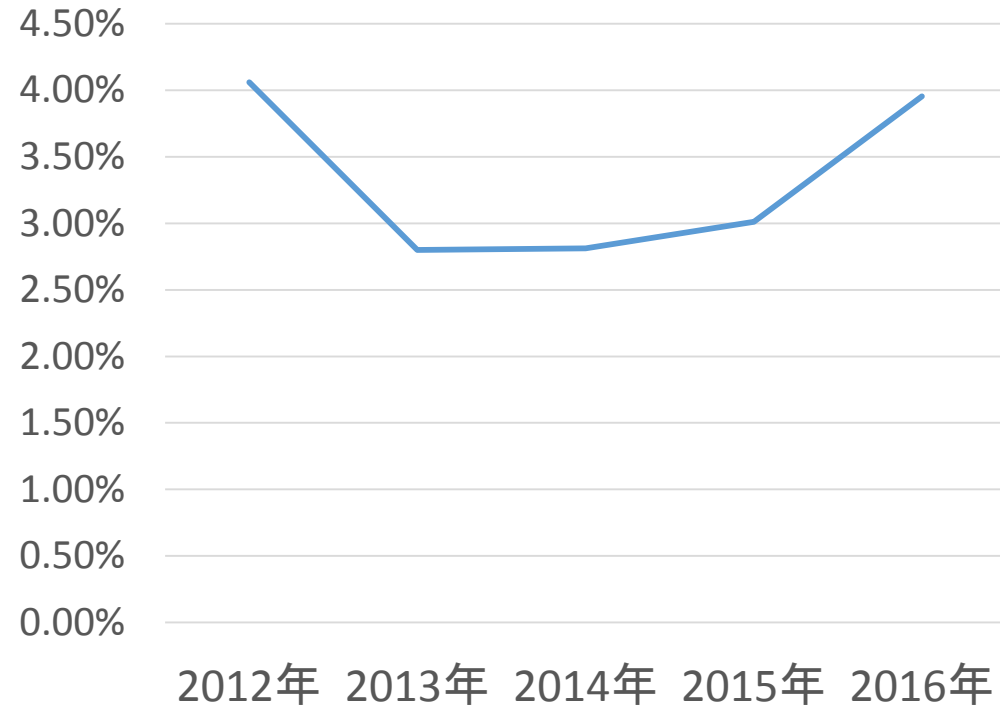
2013

高機能繊維の代表の  
防弾チョッキなどに使われるアラミド繊維の需要低迷

2015

シンガポール工場  
山口県の徳山事業所 閉鎖  
主要事業の買収でカバー

# 東レ

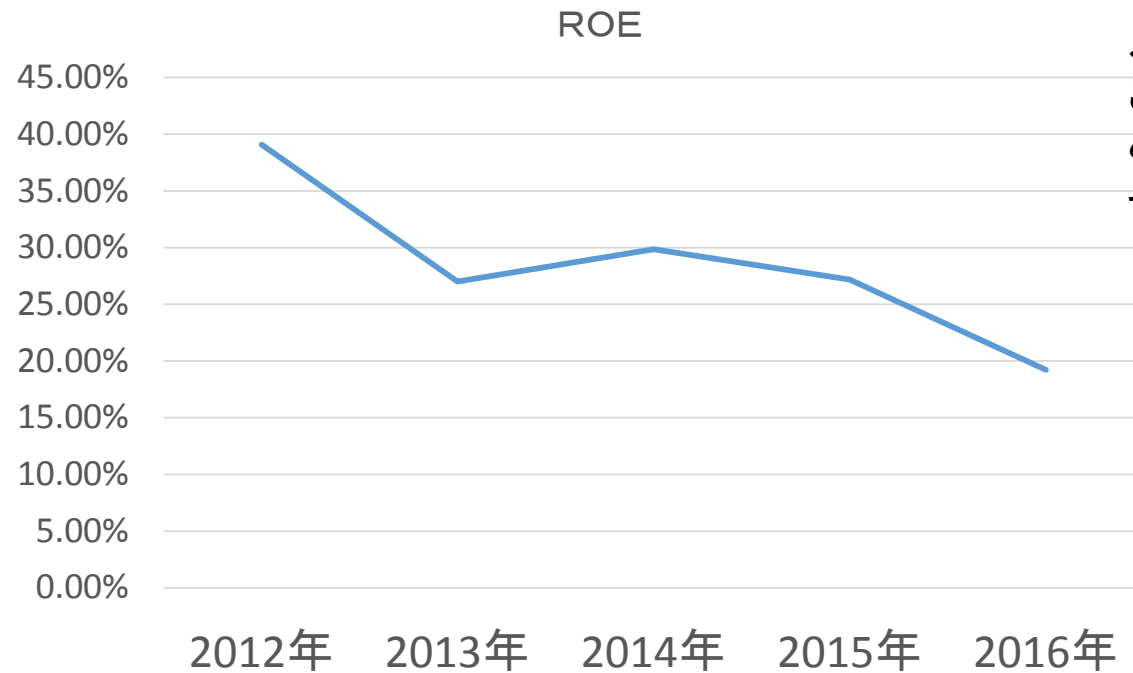


## 2013 ROEの低下

米国のゾルテック社を大型買収することで、  
総資産が上がり、売上高に対する総資産の割合が  
高くなり、効率性が下がったことが影響

# デュポン

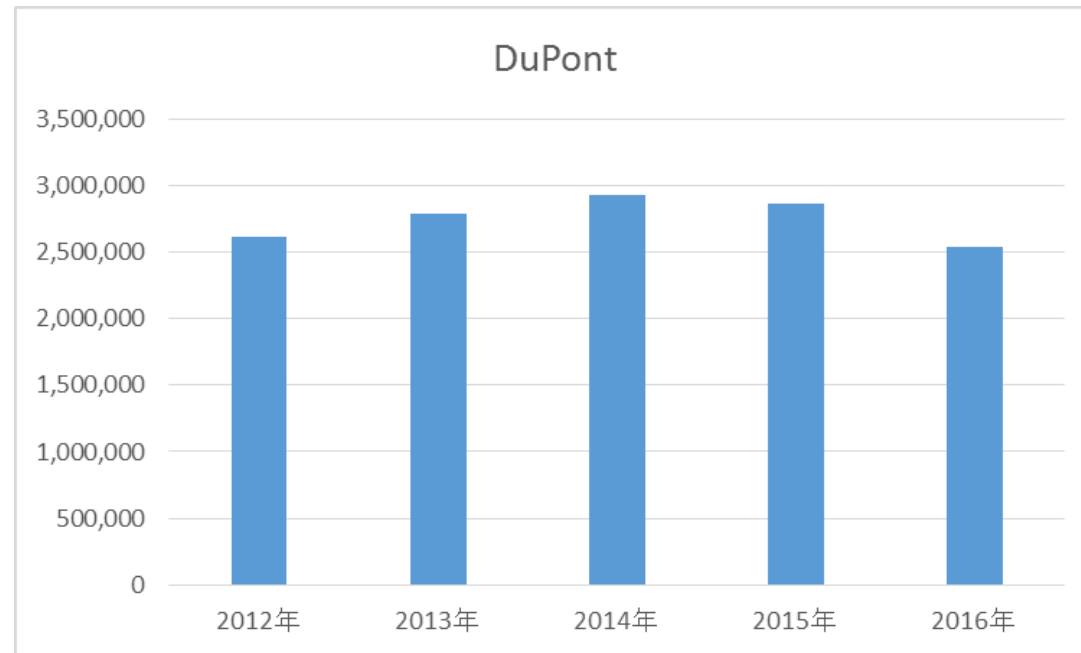
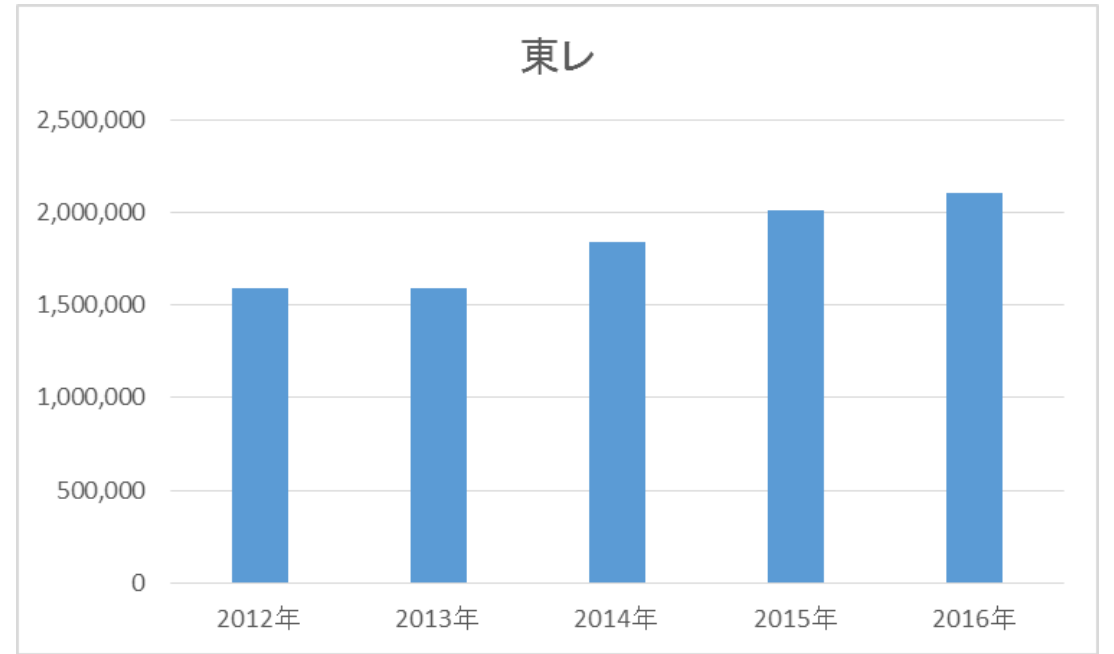
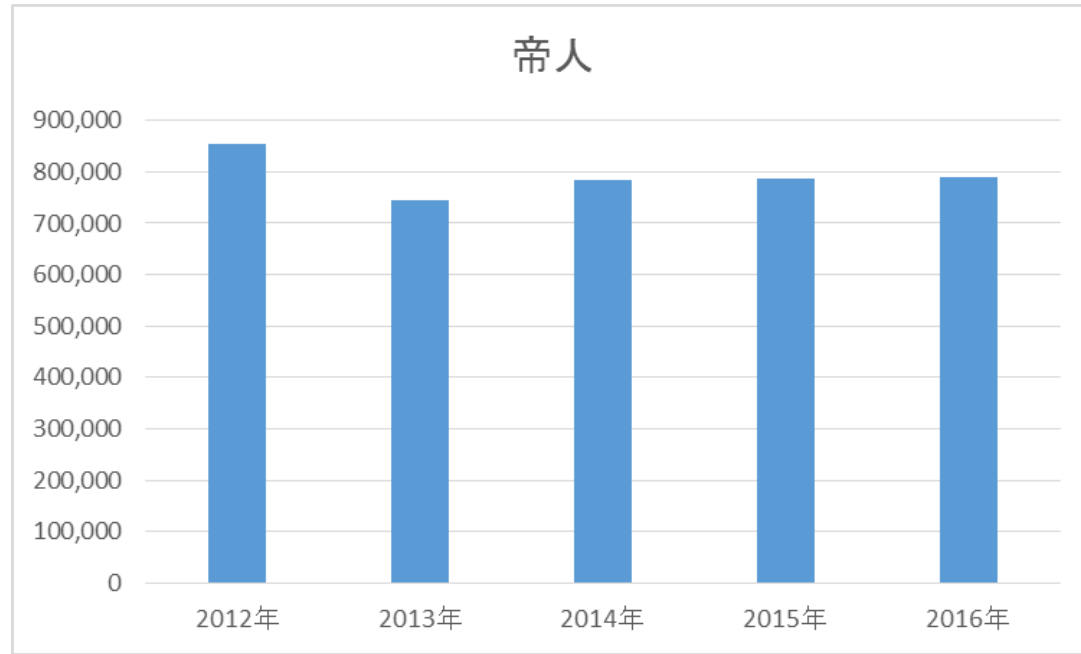
## ROEが低下している理由



為替変動によって売上高が低下し収益性が下がっていることが一番の理由だと考えられる。

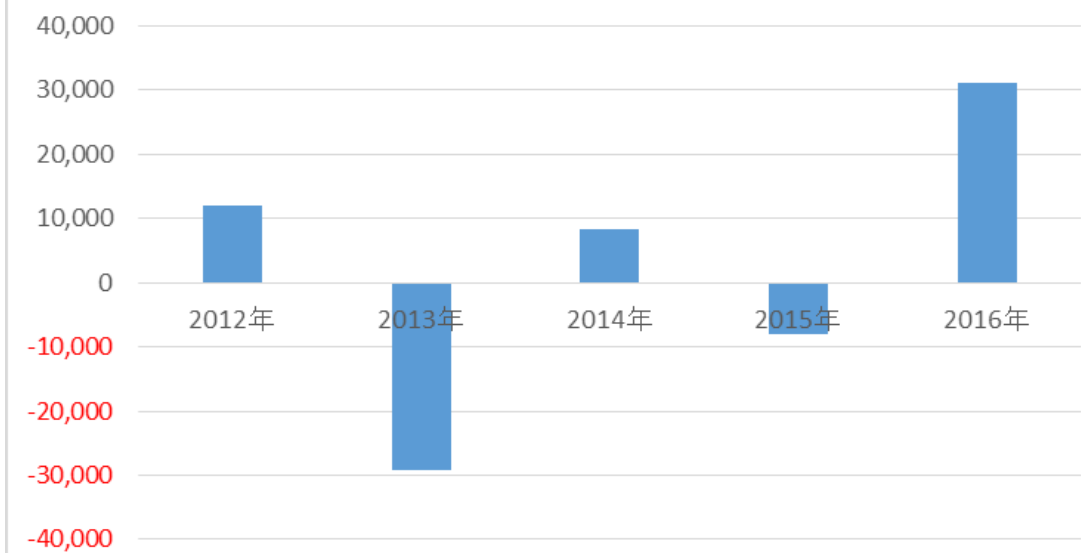
↳世界70か国に拠点を置くことで、為替の影響を受けやすい。

# 売上高

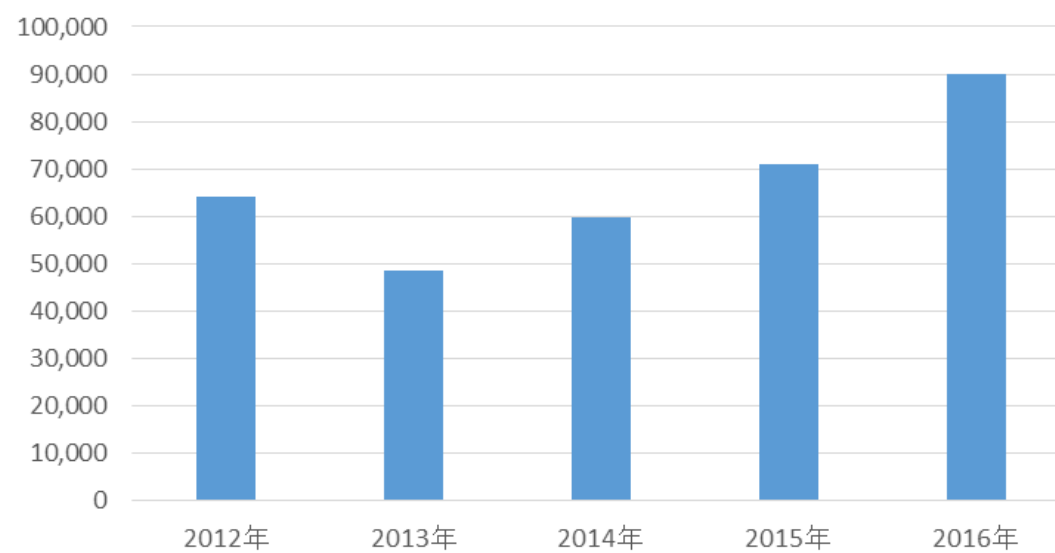




### 帝人

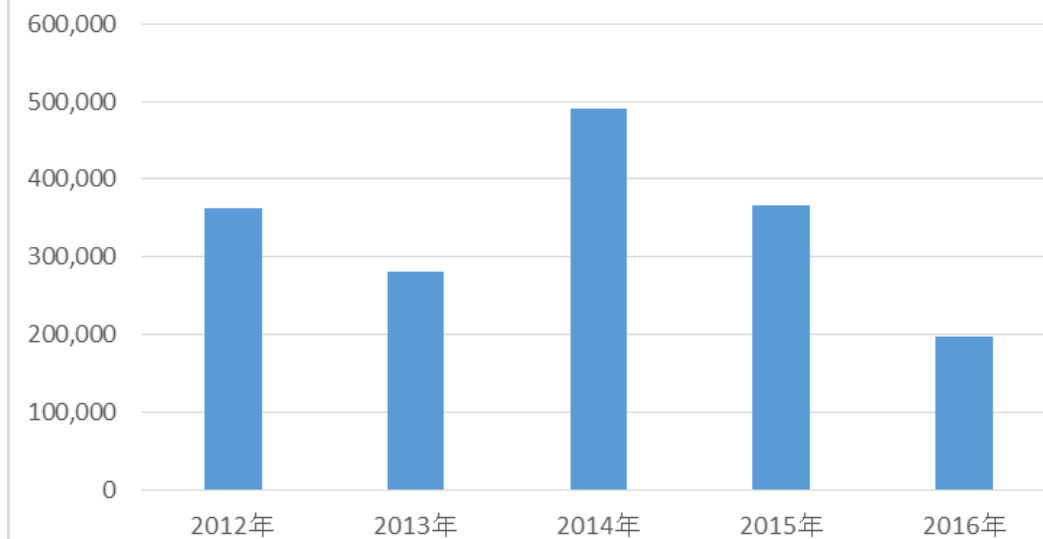


### 東レ

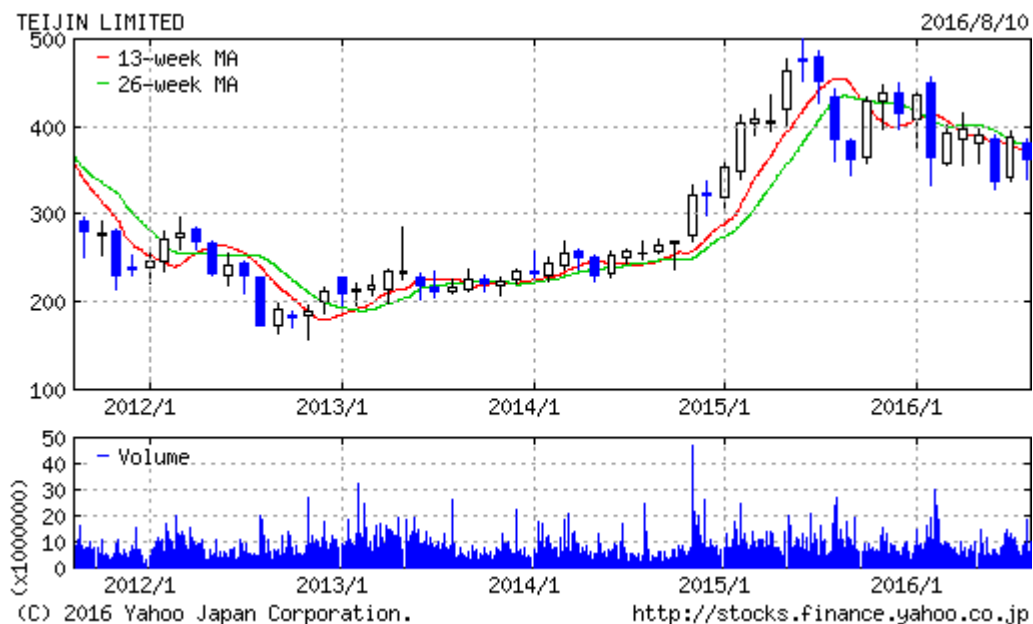


## 当期純利益

### DuPont



# 帝人

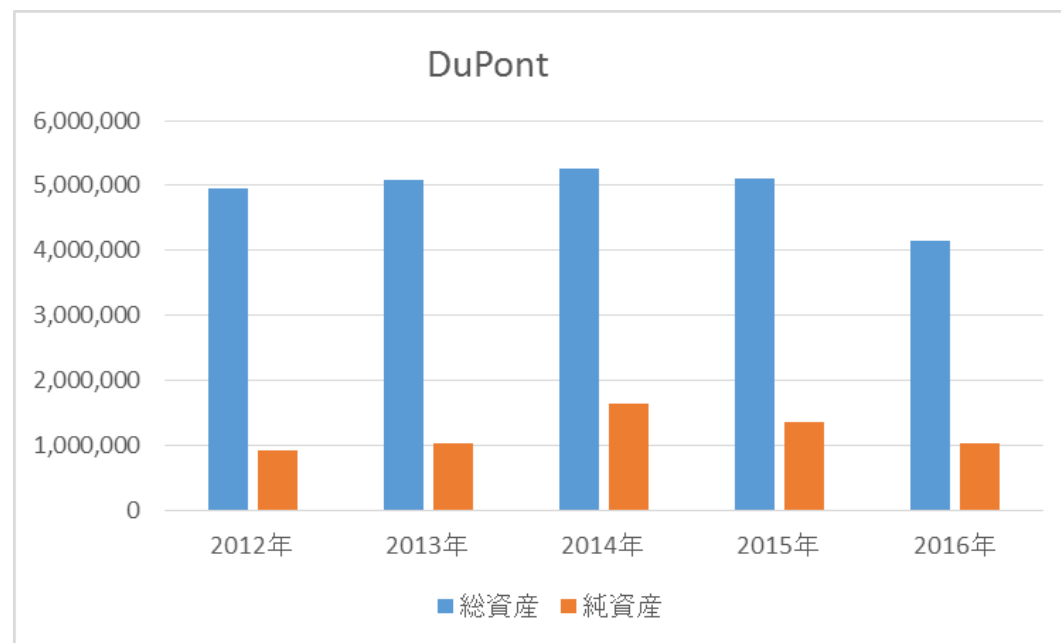
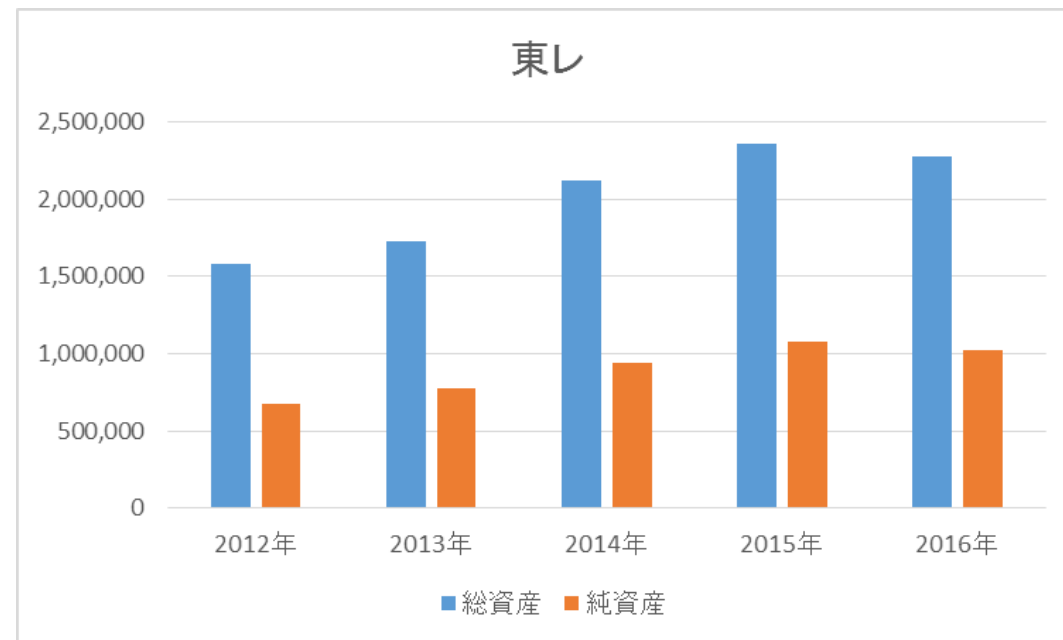
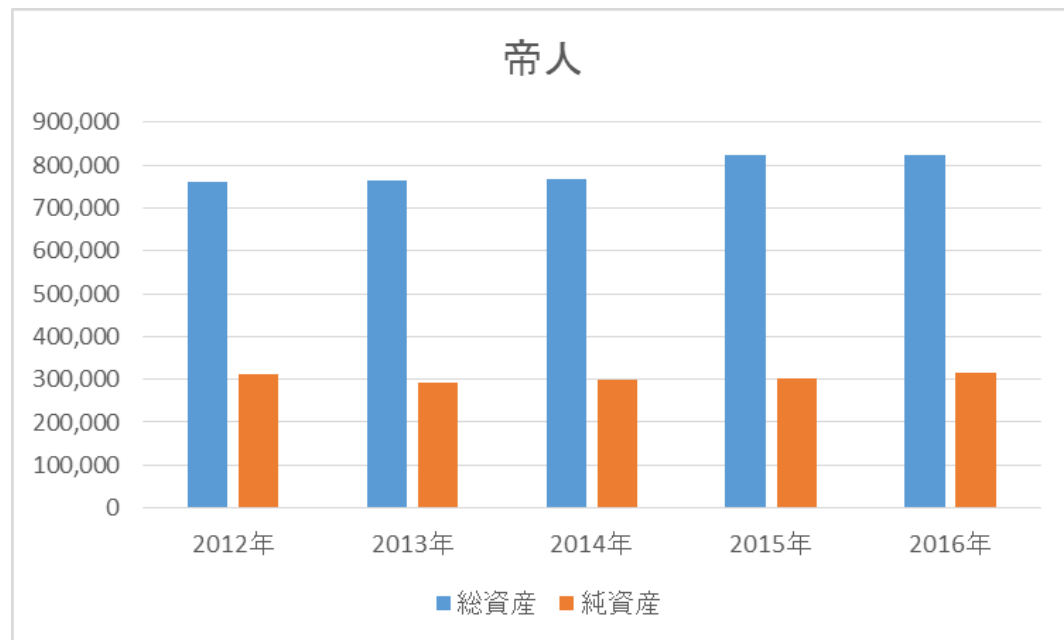


# 東レ



# DuPont





# まとめ

海外の企業はM&Aを積極的に行なっている。そのため、負債が多くなるため財務レバレッジが大きくなる。また、他人資本で、規模を大きくしている。

それに比べて、日本は自己資本で、企業を動かすことが多く、海外に比べると、M&Aは少ない。企業の規模も海外には劣る。

3社とも、高付加価値の商品を売っているため、収益性が高くなっている。

事業内容が似ていても、方針が異なるだけでグラフを見てわかるように、売上や利益の変化が大きく異なることがわかった。